

つながる医療

社会医療法人
大雄会

消化器内科



消化器内科 統括部長
兼 内視鏡センター長

まつやま やすし
松山 恭士 医師

- 卒業年 2000年
- 資格
日本内科学会認定内科医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化管学会暫定胃腸科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本消化器がん検診学会総合認定医
日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医
日本医師会認定産業医、難病指定医
身体障害者福祉法第15条指定医
(ぼうこう・直腸機能障害・小腸機能障害・肝臓機能障害)
臨床研修指導医 医学博士

先生の携わっている治療について教えてください

食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管や、それに連なる肝臓、胆道、膵臓など広い領域を対象に、消化器病全般の早期診断、内視鏡検査を中心として迅速な診断、治療を行っています。

診療内容について教えてください

内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）は一度辛い思いをした患者さんは二度と検査をしたくなくなってしまうため、少しでも不安のある患者さんには眠り薬（鎮静剤）を用いてご不安をできる限り取り除けるように心掛けております。

また先進的な医療をハイボリュームセンターなどともタイアップして連携を取りながら、特殊検査や難易度の高い治療を行ったり、他の施設から医師を招いて全国トップクラスの治療を直接患者さんに提供することも可能です。また時間的制約のある方には一日で胃カメラと大腸カメラが出来る様に工夫もしております。

また、この地区で初めて炎症性腸疾患（IBD）センターを開設し、内科・外科合同で密接な連携をとりながら最新の治療を提供できるようになっております。当院は総合病院ですので基礎疾患が他にあっても、すべての診療科と連携を取りながら治療が出来るので、困ったときは他の診療科と連携して前へ前へと進んで治療をすることが出来、辛くない検査を受けて頂き最新の治療を提供できることを自負しております。

若手医師の技術もしっかりとしており、消化器内科として一丸で治療、検査に取り組んでおります。



内視鏡検査の様子



消化器外科手術の様子

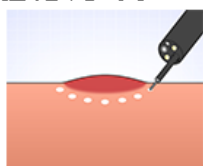
ESD治療について教えてください

早期がんに対して行われているおなかを切らずに出来る内視鏡治療は、開腹手術に比べて入院日数が短期間で済みます。また患者さんへの負担も軽減できるため、従来の外科治療に代わる新しい治療法として注目されています。これは内視鏡的粘膜下層はく離術

(Endoscopic submucosal dissection: ESD) といいます。全ての早期がんに対して施行可能ということではありませんが、条件を満たした病変に対しては食道、胃、大腸のどこでも内視鏡だけで切除可能な治療です。

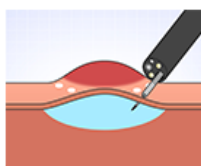
(1)マーキング

内視鏡を胃の中に入れ、病変の周辺に切り取る範囲の目印をつける



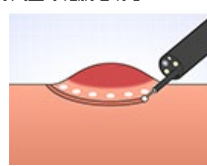
(2)局注

粘膜下層に薬剤を注入して浮かせた状態にする



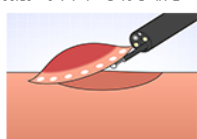
(3)切開

マーキングを切り囲むようにナイフで病変部の周囲の粘膜を切る



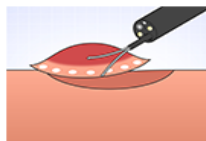
(4)粘膜下層の剥離(はくり)

専用ナイフで病変を少しずつ慎重にはくとり、最後まで剥離(はくり)する、または最後にスネアで切り取る



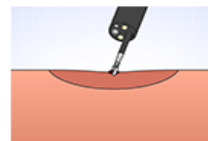
(5)回収

切り取った病変部は病理検査に出すため回収する



(6)止血

切り取ったあとの胃の表面に出血がある場合は止血処置を施す



今後の活動についての目標や展望を教えてください

「消化器疾患で対応できない疾患はなし」にしていきたいと思っています。現在、小腸内視鏡はマンパワー不足のため出来ていませんが、近い将来施行できるようにして行きます。また特殊な検査や内視鏡治療は、全国の一部の医療機関でしか実施できていない治療もありますが培ってきたネットワークを使って、「うちの病院でやれない検査治療はなし」にしたいと思っています。

ワンポイントアドバイス



病気は、自覚症状が出た時にはある程度進行しているケースが多くあり、特にがんは進行して発見されると、適応できる治療が限られてしまうことがあります。定期的に健診を受けることで早期発見に役立つこともあり、また身体の状態を具体的に知り、生活習慣を改めることで他の病気の予防に役立てることが必要だと言えます。



先生の事をもっと知りたい！

● 医師を志した理由を教えてください

「病気を早く見つけて、早く治してあげたい」という単純な思いから医師を目指しました。

今思うと、自分自身が医者になることで、家族や仲間の役に立ちたいという思いも強かったように思います。

● 患者さまを診察する際大切にしていることを教えてください

「一期一会」という言葉がありますが、患者さんにとっては「一期一会」で終わってほしいけど、患者さんの体をずっと診ていきたいという思いがあります。年一回、2年に一回だけでも患者さんと繋がってほしい、その人の主治医になりたいと思っています。

変わっているかもしれませんが美容師さんを尊敬しています。美容師さんはいろいろな年齢層のお客を一瞬で虜にしてしまう技術も持っています。お客様にとって非常に居心地の良い空間を作っている。私も患者さんにとって居心地の良い空間を作ること心掛けて雰囲気の良いことを大事にしています。

● なぜこの診療科を専攻したのか教えてください

癌の治療に興味があったことと、自分で病気を見つけて治療をしたかったのと、おなか全体を診れるという点から消化器内科を目指しました。また、胃カメラや大腸カメラによって自分の目で見るのが興味深かったですし、内視鏡だけでポリープや癌を取ることが出来る事も消化器内科を選んだ理由のひとつです。

● 休みの日の過ごし方を教えてください

ステイホームの時期には、簡単な料理をしていました。先日もトマトとアボガドを切って混ぜて・・・。

お酒のつまみですね 笑

今まであまり料理はしたことがなかったのですが意外に楽しくてはまっちゃいました。



詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel.0586-26-2366 (直通) tel. 0586-72-1211 (代表) fax.0586-24-9999

● 受付時間：月～金 8:30～19:00 土 8:30～12:30

※ 祝日、年末年始除く

2020年7月発行